

令和 8 年度 予算編成方針



奈良県 三宅町

2025. 10

自分らしく

ハッピーにスモール（住もうる）タウン

「少子高齢化・人口減少」が引き続き進行し、社会におけるさまざまな不確実性が高まる昨今。社会課題やニーズも複雑かつ多様化し、その課題解決や価値創造に向けた政策や施策の立案が必要とされています。

三宅町においても、現下の厳しい社会情勢を踏まえ「前例踏襲の予算」では、その変化や住民ニーズに対応した柔軟な対応ができるとは言えず、これからの未来を見据えたする短期的な事業と中長期的事業を打ち出していきます。

実感できる豊かさとは何か、幸せとは何か、Well-beingとは？

もう一度その原点に立ち戻り、三宅町民にとって必要な事業に取り組むとともに、10年、20年、30年後の未来のために、今、私たちができることを確認し、果たすべき役割や使命を“一人ひとり”がしっかりと考え、予算で“見える化”する。

～One for all, All for one～ 令和8年度予算編成に向けた私たちの所信表明です。

予算編成にあたり

現場の声とデータでの主観・客観分析に基づき、思いつきや単なる応急対応ではない施策を立案・実施していきます。

住民のニーズベースでの施策を立案・実施していくために以下の3つを大切にします。

1 暮らしに身近な施策の実施

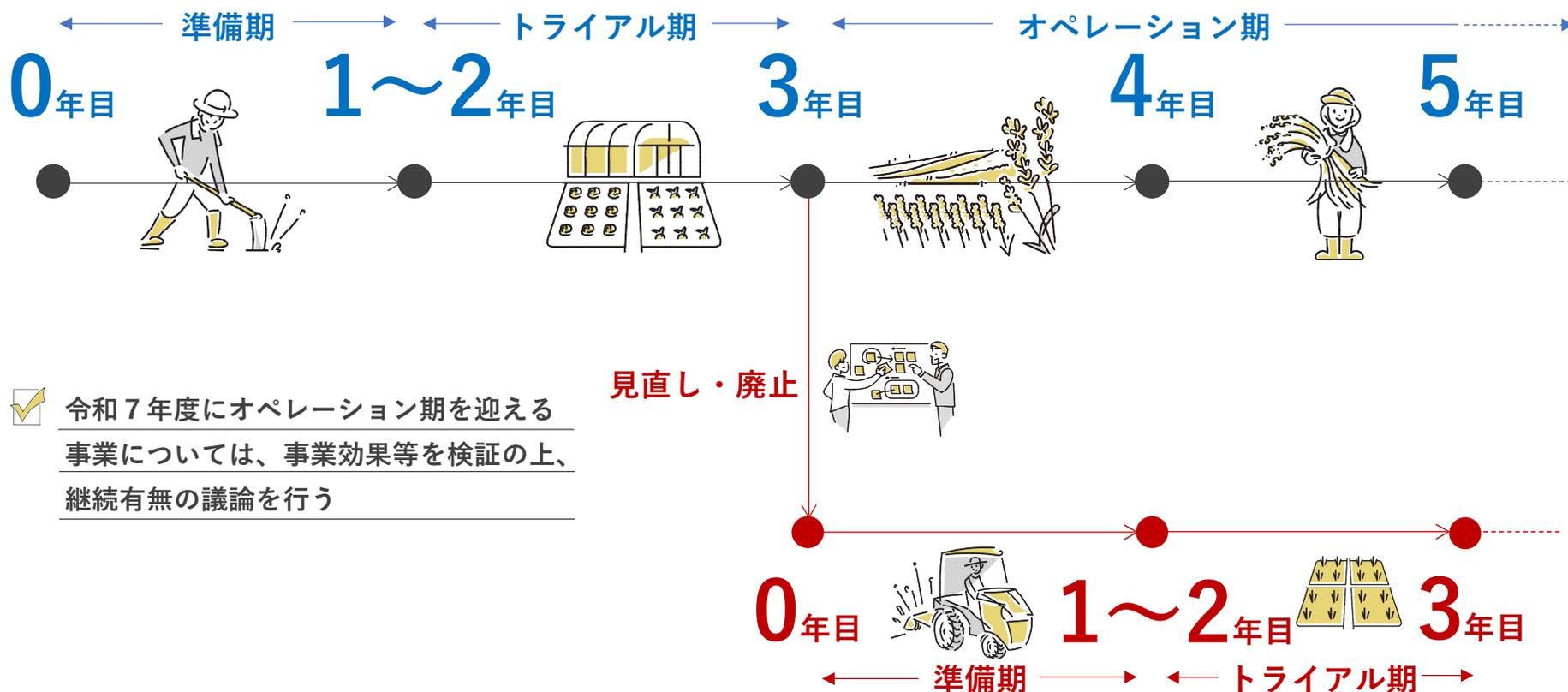
2 未来に向けた積極的な投資

3 共感と納得・職員の業務バランス

これらを軸に挑戦と失敗を恐れない文化を対話から生み出し、「誰もが自分らしく幸せに暮らせるまち」をめざして、「まちの共創者」としてのまちづくりに取り組みます。

I 政策予算のサイクル

令和7年度当初予算編成に引き続き、令和8年度は三宅町第2次総合戦略における「オペレーション期」であり、真に必要となる事業を見極めた上で、限られた財源の中で最大限の効果を発揮することのできる予算を編成し、**町民の皆さまに寄り添った施策を実施**していきます。



I 予算編成のポイント

問いを立てる

Point 1 **組織全体での共創・既存事業のブラッシュアップ**

目的を同一にする事業について一元管理を行うこと等、部署横断的に事業を実施し、事業目的を相乗的に共創する。

Point 2 **事業の本質を考える**

たとえば、事業を委託する際の契約方法をどうするか等、単に前例踏襲ではなく予算要求段階において事業の本質を考え、予算を最適化する。

Point 3 **職員への積極的な投資**

現場主義に基づく施策の調査研究等を通して業務全般の効率化・最適化等の態勢整備に組織一丸となって取り組み、第3期総合戦略に反映できるよう備える。
